

地区・校区連合自治会長研修会

日時 平成29年11月27日

テーマ 「組織運営における会議のあり方を考えるー意見をつなぎ・ひきだす会議術ー」

講師 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 三木 俊和氏

本会では、例年、会員及び地域の方を対象に自主研修会を実施しております。

今年度は、日頃の会議のあり方について考え、話し合う機会を設けることを目的に、有限責任事業組合まちとしごと総合研究所三木俊和氏を講師にお招きし、「組織運営における会議のあり方を考えるー意見をつなぎ・ひきだす会議術ー」というテーマで、平成29年11月27日に福祉文化会館302号室で茨木市市民活動センターと合同で研修会を開催しました。

各地区・校区連合会長24名、市民活動団体から21名の出席がありました。研修会前半は、「組織運営における参加型の会議づくり」について、三木先生にお話ししていただきました。研修会後半は、ファシリテーターを入れたワークショップを行いました。

「ファシリテーター」とは、集会や会議などで、テーマ・議題に沿って発言内容を整理し、発言者が偏らないよう、順調に進行するように口添えする役を意味し、議長と違い、決定権を持たない者を指します。



講義では、地域における若者の減少や担い手の高齢化、取り組む課題の変化により、多様な価値観を受け入れる会議のあり方が重要になってきているため、会議の目的によってあり方を変えることが求められているとのお話がありました。

例えば、

「報告・共有のための会議」の場合は、

- 目的を決めておく。
- 議題と内容を予め配布しておく。
- 議論と決め事をわけて早く終わろうと意識をする。

- こういう会議にしたいと合意しておく。
- 「考え・アイデアをだすための会議」の場合は、
- こんなアイデアを持ち寄ってほしいと伝える。
- フラットな場づくり、意見が出やすい工夫
- おもてなしの精神

↓意見の促進につながる
といったことが必要であるとのことでした。

また、会議運営の工夫によって、実際に参加や連携が促されていった事例の紹介がありました。

次に、ワークショップでは、6、7名で1つのグループを作り、ファシリテーターの進行にそって、「良い会議とは？」というテーマで、会議における悩みを振り返り、よい会議のための改善策や工夫について話し合いました。



ワークショップの様子



講義の様子

参加者の方からは、「会議の目的の明確化、事前準備の必要性等がよく理解できた。これからの会議に生かしたい。」「会議についての研修会は、参考になった。ファシリテーターの役割の大切さが理解できた。」といった感想をいただきました。

特集 地域活動事例集

みなさんの地域ではどのような地域活動をされていますか？

全国各地で取り組まれている自治会加入促進や楽しく取り組める地域活動について特集記事を作成いたしましたので、みなさんが地域活動を行う際の参考にいただければと思います。

事例1 健康できれいなまちづくり運動(ラジオ体操 + 地域のごみ拾い)



夏休みにこども会で行われているラジオ体操に、自治会員の健康づくりや世代間の交流を目的として大人も参加できるようにして、地域みんなでラジオ体操をした後に参加者全員でゴミ拾いをしています。

イベントの参加者も増え、健康づくりにも良く、地域も綺麗になる効果的な取り組みです。

事例2 わんわんパトロール

地域の防犯活動を充実させるために、犬の散歩をしている自治会員に働きかけ、犬の散歩の際には防犯用のジャケットを着用してもらいます。

何も特別なことはしてもらわず、普段どおり散歩するだけですが、地域の犯罪予防や地域住民の防犯意識の高揚と防犯活動への関心を高める効果が見込まれます。



事例3 餅つき大会と防災訓練



防災訓練への参加者が少なくなっていたため、地域の人と交流することにより楽しんで参加することを目的として、防災訓練と地域の餅つき大会を合同で開催しています。

2つのイベントを合同で開催することにより、今までよりも来場者が多くなり、啓発活動と交流事業が効果的に行えます。

事例4 こどもサバイバルキャンプ

こどもたちに楽しみながら防災に関する意識を身に付けてもらうために、地域のこどもたちを対象にした避難生活体験キャンプの実施をしています。

大地震を想定して、避難所にテントを設営し、水や電気、電話が使えないと想定して、一夜を過ごしてもらいます。

実際に消火器に触ったり、バケツリレーやペットボトルを使ったランタン作りをしたりするなど避難生活を身近に感じてもらいます。



事例5 2つの自治会が合同で東北復興支援チャリティーフリーマーケットを開催



近隣する2つの自治会が東北復興支援と銘打ってチャリティーフリーマーケットを実施しています。

2つの自治会が共同して行ったため、多くの仲間ができて、避難所運営訓練やふるさとまつりなどの地域活動に大きな力となりました。

茨木市自治会連合会では、自治会等でおこなわれている活動や催しを、機関紙で紹介したいと考えております。自治会や校区・地区の連合会において取り組まれている特徴的な活動や負担軽減のための改善策など、教えてもらえませんか？

内容は、取材に行かせていただきますので、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

☎620-1604(直通)

回覧板の配布 有料

茨木市自治会連合会で作成しております回覧板を1枚200円で配布しております。

配布枚数の上限は、各自治会の班数×2まででお願いします。

市民協働推進課(自治会連合会事務局：市役所本館2階10-①番窓口)まで現金を持って取りに来ていただきますようお願いいたします。

自治会加入促進について

茨木市自治会連合会では、「自治会加入案内チラシ」(A4版)、「自治会ハンドブック」(冊子)を作成しております。各自治会で未加入世帯に加入促進される時に是非ご活用下さい。

ご希望の場合は、市民協働推進課(茨木市自治会連合会事務局：市役所本館2階10-①番窓口)までご連絡もしくは取りに来てください。

☎620-1604(直通)

自治会長説明会を開催します! ぜひご参加を!

茨木市、茨木市社会福祉協議会と合同で平成30年度も自治会長説明会を4月26日(木：夜)と5月6日(日：昼間)の2回実施いたします。

この説明会は、平成23年度から実施しているもので、自治会長の1年間のおおまかなスケジュールや市との関係についてお話しします。平成30年度は、昨年同様、「日赤活動資金募集」説明会もあわせて実施いたしますので、新任の方に限らずご参加いただくことができます。



昨年の様子

案内につきましては、3月15日発送の市からの自治会長宛送付文書にて送付いたします。

自治会長の皆様は、是非ご参加くださいますようお願いいたします。



次なる
茨木へ。

茨木には、次がある。

平成30年は市制施行70周年

編集後記

年度末が近づき、あれもこれもと気持ちばかりが焦る日々が続いています。これからも読みやすい誌面づくりを目指していきますので、よろしく願いいたします。(N)